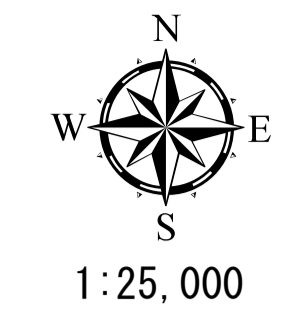
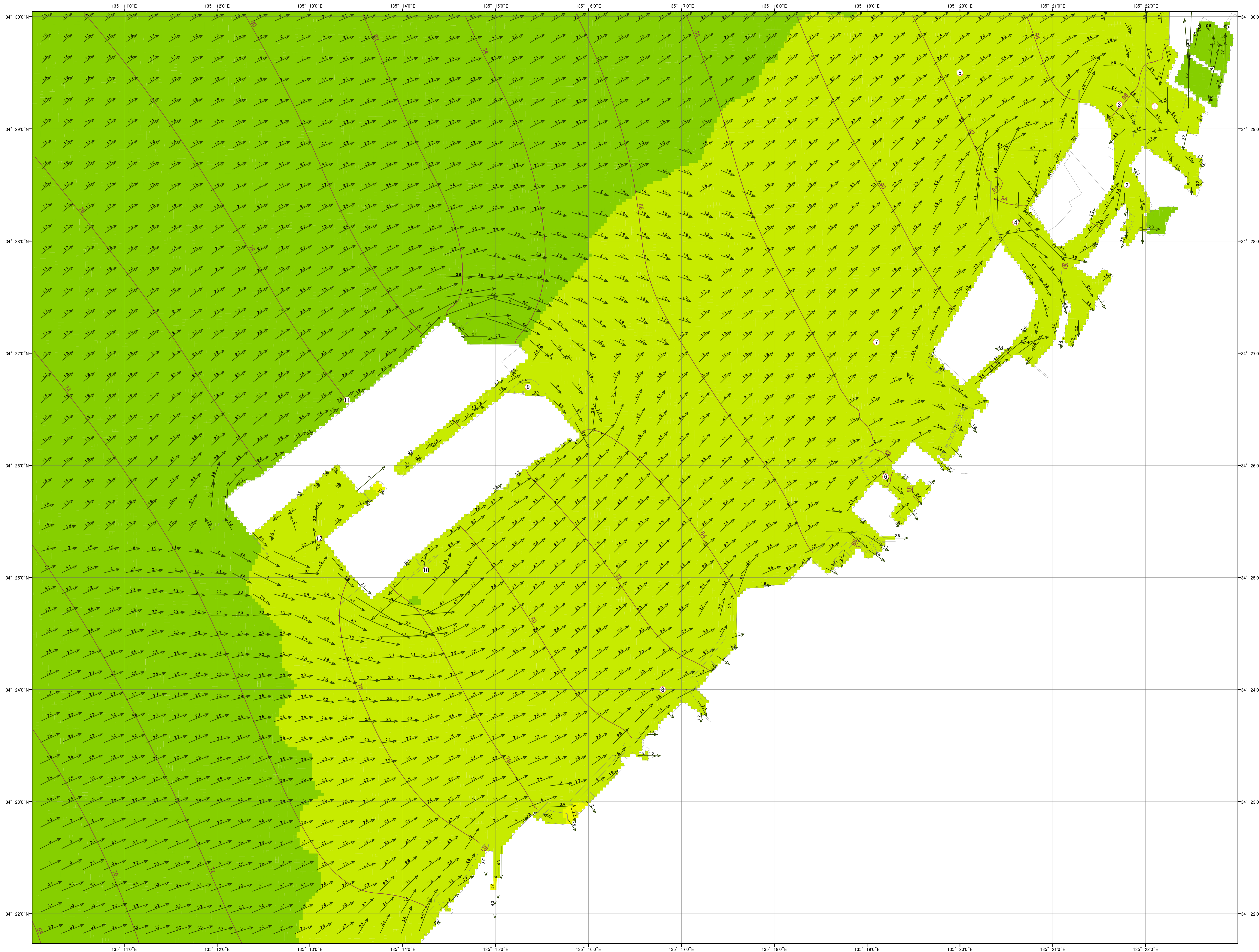


阪南・泉州港 津波防災情報図（進入図）

計算条件： 最高水面
 隆起量： 平均 -0.30m(-0.40m ~ -0.25m)
 Zo： 0.95m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



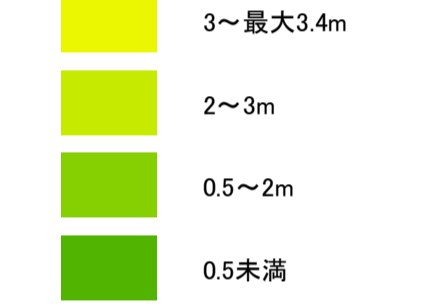
座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

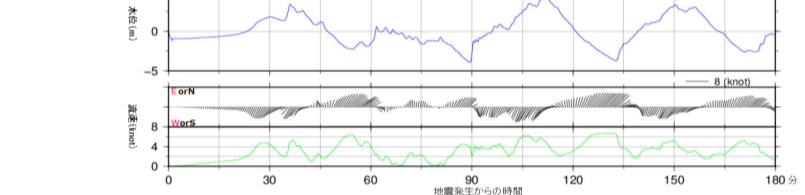
最大水位上昇



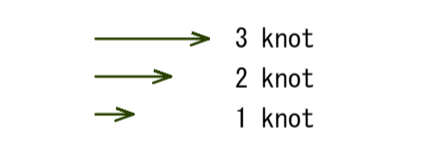
(No) 経時変化図出力点

(No) 経時変化図出力点 (No) 経時変化図出力点 (No) 経時変化図出力点

(No) 水位・流向・流速経時変化図



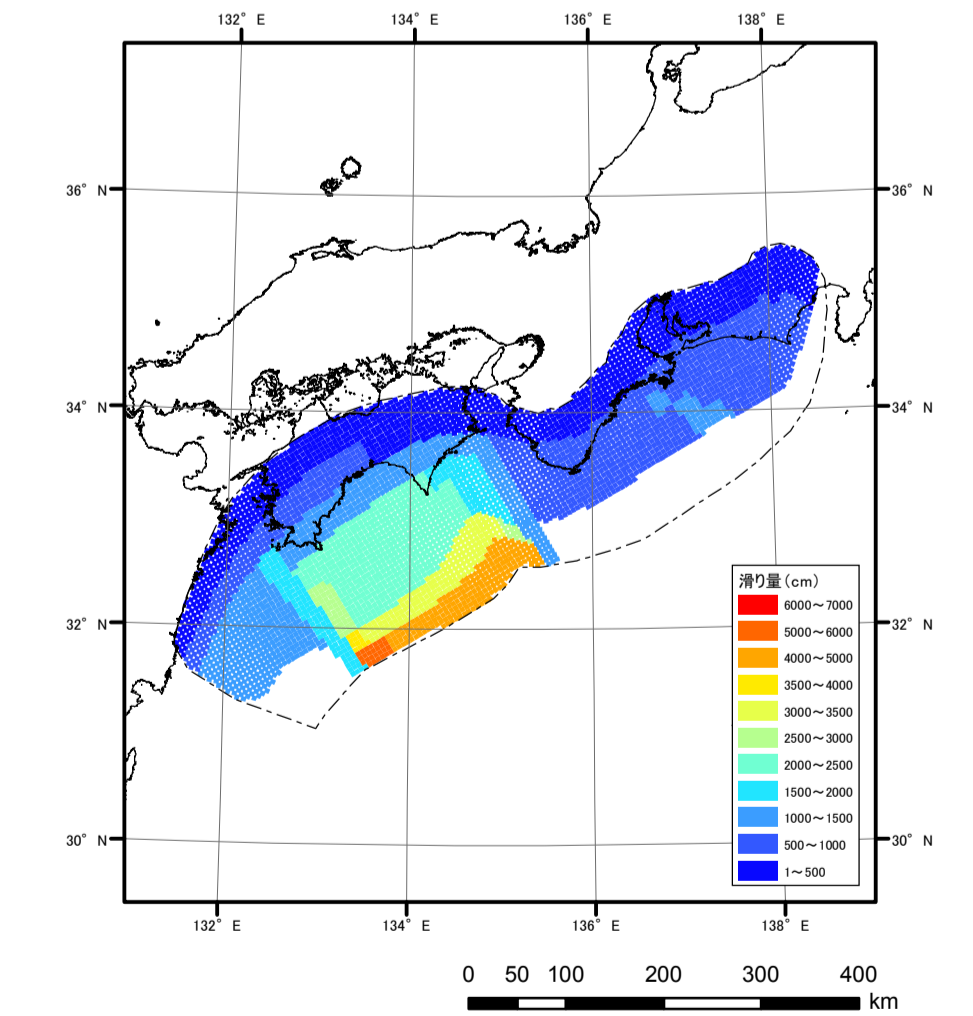
進入時最大流 [knot]



○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



ケース④「四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ（標高）及び10mメッシュ（標高）（国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日）

